

令和元年度 あいかわ町民活動応援事業 審査結果一覧

整理番号	事業名	新規・継続	団体等名	代表者名	設立時期	総事業費(円)	補助申請額(円)	申請内容	採否	補助金交付金額(円)
1	芸術表現活動による障がい者生きがい支援事業	新規	愛川芸術就継B みらいのあいの家設立準備室	丸茂かつ江	平成30年8月 (10ヶ月)	408,200	300,000	障がい者を対象に、専門家によるアートと音楽の体験ができるワークショップを開催し、障がい者に芸術表現の楽しさを味わっていただくほか、一人ひとりが得意分野を見出すことにより、自信、自立心を養っていただくとともに、地域の人々とのふれあいや社会参加の機会とするもの アートについては、立体造形と平面造形。音楽については合唱や楽器演奏、ダンス等の体験プログラムを用意し、アートと音楽の二つのプログラムを1回のワークショップの中に盛り込み開催する。 ・立体造形と合唱またはダンスのワークショップ:年3回 ・平面造形と楽器演奏またはダンスのワークショップ:年3回 ・年度末にアートフェスタの開催	採用	300,000
2	中津川仙台下河川敷整備および花畑事業	継続 (3回目)	中津川仙台下クラブ	沼田 彰	平成23年6月 (8年)	1,222,000	300,000	年間を通じ、中津川仙台下河原(角田地内)を整備・保全するための「草刈り・整地作業」及び河川に隣接する農地等を活用した「花畑造り」を実施し、町内の名所づくりを目指すもの 仙台下河原については、利用者が徐々に増えており、保全管理の実施により豊かな水辺環境を守るとともに、青少年育成活動などでの利用促進を図る。また、作業にはボランティアを広く募るほか、昨年度からは愛川高校生を対象としたボランティア体験学習を実施している。「花畑造り」は、団体が維持管理している仙台下の農地に、春は菜の花、夏はヒマワリ、秋はザル菊やコスモスなどの季節の花が咲くよう、種からの栽培や苗の植付けを行う。この事業によって、本町の豊かな自然や、中津川の水辺環境を整備・保全し、町民等共通の憩いの場として、また、愛川高校生の体験学習の充実や、町内の育成会活動等、各種イベント会場としての利活用を促進し、町のシンボルとして身近な水辺環境(中津川)に気軽に親しんでもらい、「愛川町のイメージアップ」を図る。	採用	300,000
3	愛川に稲作漁労文化およびマコモを復活させる事業	継続 (3回目)	NPO法人 地球と共に生きる会	渡邊 政男	平成12年2月 (19年4ヶ月)	155,000	124,000	自然環境の改善と食生活の改善を促進するために、箕輪耕地の遊休・荒廃農地や、休耕田を活用し、マコモ栽培と米の無農薬による作付けを行うもの。 農作物の栽培にあたっては、広く町民や子ども達の参加を呼びかけ、農業体験や田植え体験を実施する。 また、お田植え祭などのイベント的な要素も取り入れつつ、日本古来の文化に触れる機会を提供するなど、多くの町民等が興味を持って、この事業に関わりを持てるよう、地域おこし(まちづくり)としての効果も期待し、実施する。 将来的には、マコモを愛川町の特産物としての普及や、マコモを原料に加えた消臭・防虫効果の高いマコモ和紙の普及を目指す。	採用	124,000
合計						1,785,200	724,000			724,000